

2014年10月23日(木)
スタート

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネージャーによる相互啓発と共同研究の会

第15期

品質革新マネジメントフォーラム

メンバー
募集

開催にあたって

グローバルなパラダイム転換の時代を迎え、開発期間の短縮化と同時に日本企業の品質保証部門の役割もますます重要になってきています。その業務にあたっては日本の品質保証の「強み」を活かしながら「新しい品質保証のあり方」を目指す動きが求められています。また、品質の捉え方も製品だけでなく、研究開発、販売、サービス、そして経営そのものまで「質」を上げていくクオリティ・マネジメント(Quality Management)として注力していかなければなりません。

これに応えていくために業種、業界の垣根を越えて品質保証部門のリーダーが集い、各社で抱える問題点や課題について、胸襟を開いて相互に啓発し合うことが何よりも大切だと考えています。メンバーとの交流を通じて、他では得難い共感と親睦の中から、新たな活力を体得できるのが、本フォーラムのねらいです。

第15期を迎えるにあたり、問題意識の高い熱意のある方々のご参加をお待ちしております。

■ 第1回例会【基調講演】 10月23日(木) 13:00~18:00

会場：アイビーホール (東京・表参道)

開設15周年記念講演:

『現場発のものづくり戦略』 ~能力構築とアーキテクチャ選択~

東京大学大学院 経済学研究科教授 / 東大ものづくり経営研究センター長 **藤本 隆宏** 氏



1955年東京生まれ。東京大学経済学部卒。三菱総合研究所を経てハーバード大学ビジネススクール博士号取得。東京大学大学院経済学研究科教授、東大ものづくり経営研究センター長。近著に「ものづくりからの復活」「ものづくり成長戦略」「現場主義の競争戦略」など。

オリエンテーション

グループディスカッション

メンバー相互の交流会

第1回例会は、正式入会をご検討中の方に雰囲気をご覧頂くお試し(体験)参加が可能です。(要事前予約)

■ 第2回例会【合宿研究会】 12月5日(金)・6日(土)

会場：ヤマハリゾートつま恋

I. 工場見学会:ヤマハ発動機本社工場見学会

現地講演『ヤマハ発動機におけるグローバルものづくりを支える実践的人財育成の取り組み』(仮題)

ヤマハ発動機(株) 生産管理部長 **鈴木 晴久** 氏

II. 宿泊先(ヤマハリゾートつま恋)にて各グループ別の集中討議 正式スタート

■ 第3回例会【ゲスト講演とグループ別討議】 1月15日(木) 13:00~17:00

会場：アイビーホール (東京・表参道)

『顧客満足の失敗学』 ~倒産企業に学ぶ、足りなかった5要因とは?~

ジャーナリスト 中小企業診断士 **瀬戸川 礼子** 氏



社員満足および顧客満足を主題に、日本全国の2500人以上の経営者、またそれ以上の社員に出会ってきた。その過程で、「成功のコツは共通している」ことに気付く。これを広めるため、製造業、病院、工務店、IT企業、ホテル旅館など、あらゆる業種業態において、取材活動、講演活動、コンサルタント活動を行なっている。法政大学専門職大学院卒(MBA)、経済産業省「おもてなし経営企業選」選考委員。中小企業庁「中小企業政策審議委員会」委員。著書に、『グレート スモールカンパニー』(現代書林)、『顧客満足の失敗学』(同友館)、『顧客満足度を生み出す仕組み』(同)、『女将さんのこころ1巻・2巻』(旅行新聞新社)がある。

■ 第4回例会【ゲスト講演とグループ別討議】 2月5日(木) 13:30~17:00

会場：アイビーホール (東京・表参道)

『サントリーグループにおけるフードディフェンスの取り組み』

サントリーホールディングス(株) 品質戦略部長 **森川 恵介** 氏

■ 第5回例会【ゲスト講演とグループ別討議】 3月5日(木) 13:00~17:00

会場：アイビーホール (東京・表参道)

『企業のリスク回避力を支える品質保証部門へのメッセージ』

和明明哲法律事務所 弁護士 公認会計士 **樋口 達** 氏



1993年3月東京大学経済学部卒/1993年10月会計士補登録/1993年10月監査法人トーマツ入所/1997年4月公認会計士登録/2001年4月司法研修所/2002年10月弁護士登録(第一東京弁護士会)/2007年10月パートナー/2012年8月公認不正検査士登録。

■ 第6回例会【ゲスト講演とグループ別討議】 4月16日(木) 13:00~17:00

会場：アイビーホール (東京・表参道)

『シチズン時計グループの品質改善活動』(仮題)

シチズン時計マニュファクチャリング(株) 執行役員 **阿久津 秀雄** 氏

会の構成と運営要領

基本理念	本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げて、その見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。
メンバー	本社・事業部・工場での品質保証部門、CSR／環境安全衛生部門等の責任者・マネージャー・ご担当者を対象とします。また、参加メンバーはギブアンドテイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、その成果はメンバー間で共有するものとします。
開催期間	2014年10月～2015年8月(全10会合)
会場	東京都内会議室(Ex.東京・表参道 アイビーホール)但し、合宿研究会・工場見学会は地方開催となります。
例会日	原則として毎月1回 木曜日 13:00～17:00 (Ex.13:00～14:30 ゲスト講演/14:30～17:00 各グループ別の集中討議)
例会連絡	例会日の1ヶ月前にメールにてご案内を差し上げますので、ご出欠回答をお願い致します。

運営幹事 (会社名50音順) *メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂き、主にグループ討議の進行・運営サポートをして頂きます。

(株) アルバック	グローバル生産企画室企画推進部長	森本 潤 氏
(株) クラレ	CSR部品質保証グループリーダー	植村 純一 氏
コニカミノルタ (株)	社会環境統括部品質推進部品質企画グループ課長	一柳 高人 氏
(株) 東芝	品質統括本部品質推進室品質企画担当参事	佐藤 勇一 氏
東芝エレベータ (株)	品質保証統括部グローバル品質保証企画部品質企画担当主任	三島 浩一 氏
富士ゼロックス (株)	CS品質本部品質保証部品質基盤グループ チーム長	福井 淳 氏
ヤマハ (株)	品質保証部品質企画室主事	臼井 剛 氏

アドバイザー *本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

オフィスM企画	代表 (元 オリンパス(株) 品質環境本部長)	松浦 強 氏
H2 Lab.	代表 (元 富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長)	原 博 氏
のっぽ技研	代表 (元 (株) リコー技師長)	長谷部 光雄 氏

※9月1日現在 ご異動等の理由により、変更の可能性がございます。予めご了承ください。

今期(第15期)のグループ討議・4つのテーマについて

グループ	討議テーマとポイント
A	<p>「CS/VOCをどう捉え 企業活動にフィードバックさせるか」</p> <p>顧客満足度(CS)が、企業活動に対する一つの指標として捉えられるようになって久しいですが、CS調査結果は、企業活動のPDCAにおいて有効に活用されているでしょうか？またお客様の声(VOC)を取得・把握はされているものの、分析・活用についての仕組みは有効に機能しているでしょうか？企業品質を高めるために、CSやVOCをどのように分析し、次のプロセスへインプットするか。そこでの適切な管理指標は何か。さらには、CSやVOCを企業活動にフィードバックさせる一連の活動に対して、有効性評価はどのように行えば良いか。CS/VOCというキーワードを軸に、企業活動を改善させるための仕組みとしてあるべき姿を討議します。</p>
B	<p>「グローバル生産における課題共有と解決に向けて」～品質企画、コーポレートガバナンス、生産企画の観点より～</p> <p>近年、我が国のモノづくりの潮流は、国内生産から海外生産へのシフトとしてとらえられてきましたが、今や国内・海外と別々に考えるのではなく、それらが有機的に結合した、「グローバル生産」という考え方が必須となってきています。当グループでは、この「グローバル生産」をめぐる様々な課題について、討議を行い、その実践について検討して行きたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興国品質とは、適正品質とは何か？その考え方と事例。 ・日本のものづくり企業は世界でどう戦えばよいのか？日本企業の強み・弱みとは？ ・海外拠点の機能は、商品企画、製品スペック、設計開発、製造、品質マネジメントなど、多岐にわたるが、どこまで日本側が関与し、どこを現地に任せるべきなのか？ ・製造委託先の品質レベルおよび弱点などのリスクを見極める監査方法と指導のあり方。 ・海外製造委託先(ODM/OEM/EMS)の使いこなし方法と成功事例、失敗事例。 ・海外での部品・原材料の調達から生産、販売、アフターサービスまでの品質確保について。 ・日本及び海外拠点間の品質や生産に関わる価値観、WAYをどのように共有してゆくか。
C	<p>品質保証部門の質向上について ～コーポレート品質保証の役割を軸に～</p> <p>コーポレートの品質保証部門は、経営的な視点で「品質」を見ることが求められます。その果たすべき役割について、品質保証部門の「質」とはどのようなものか、どのようにしてその「質」を向上するかについて討議します。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> 【戦略の質】 経営戦略や事業戦略との関わりをもった品質方針の策定や展開 【組織の質】 品質保証部門の組織構造や人員 【お客様対応の質】 要望やクレームへの組織的対応 【経営層への情報の質】 トラブル情報やリスク情報の報告 【事業部へのサービスの質】 事業部の活動支援や事業部間の横連携推進等を議論していきます。
D	<p>儲かる品質マネジメントシステムの徹底研究と構築 ～改正 ISO9001:2015 対応～</p> <p>2015年9月のISO 9001改正版発行を目標に、現在ISO9001国際規格案(DIS)が発行され、審議が進められています。今回の改定の目玉は、数多く存在する各種マネジメントシステム(品質、環境、情報セキュリティ等)の共通部分をMSS共通要求事項として統合し、組織のパフォーマンス改善をマネジメントシステムの目標とすることを求めています。このような中、我々は、何を準備し、どの様に対応すべきか？をグループの課題として設定し、事業一体や顧客と密着したマネジメントシステムを指向し、儲かるマネジメントシステムへの変革を徹底して研究していきます。</p> <p>マネジメントシステムに興味のある方、事務局として規格改訂に頭を痛めている方々の数多くのご参加をお待ちしております。</p>

※参加人数によっては、テーマ変更やグループの再編、他グループへの移動をお願いする場合がございます。予めご通知おきください。

今期（第15期）の年間プログラム

開催日	内 容
第1回例会 10月23日(木) 13:00~18:00	I. 基調講演： 『現場発のものづくり戦略』 ～能力構築とアーキテクチャ選択～ 東京大学大学院経済学研究科教授 東大ものづくり経営研究センター長 藤本 隆宏 氏 II. オリエンテーション III. グループディスカッション IV. メンバー相互の交流会
第2回例会 12月5～6日 (金・土) 合宿研究会	<宿泊先：ヤマハリゾートつま恋> I. 工場見学会： ヤマハ発動機本社工場見学会 現地講演『ヤマハ発動機におけるグローバルものづくりを支える実践的人財育成の取り組み』(仮題) ヤマハ発動機(株) 生産管理部長 鈴木 晴久 氏 II. 宿泊先にて各グループ別の集中討議
第3回例会 2015年 1月15日(木) 13:00~17:00	I. ゲスト講演： 『顧客満足の失敗学』 ～倒産企業に学ぶ、足りなかった5要因とは?～ ジャーナリスト 中小企業診断士 瀬戸川 礼子 氏 II. 各グループ別の集中討議
第4回例会 2月5日(木) 13:30~17:00	I. ゲスト講演： 『サントリーグループにおけるフードディフェンスの取り組み』 サントリーホールディングス(株) 品質戦略部 課長 森川 恵介 氏 II. 各グループ別の集中討議
第5回例会 3月5日(木) 13:00~17:00	I. ゲスト講演： 『企業のリスク回避力を支える品質保証部門へのメッセージ』 成和明哲法律事務所 弁護士 公認会計士 樋口 達 氏 II. 各グループ別の集中討議
第6回例会 4月16日(木) 13:00~17:00	I. ゲスト講演： 『シチズン時計グループの品質改善活動』 (仮題) シチズン時計マニュファクチャリング(株) 執行役員 阿久津 秀雄 氏 II. 各グループ別の集中討議
第7回例会 5月22～23日 (金・土) 合宿研究会	I. 工場見学： 『コベルコ建機(株) 広島本社(広島事業所)見学会』 (予定) II. 2日目は各グループ別の集中討議
第8回例会 6月18日(木)	I. ゲスト講演 II. 各グループ別の集中討議
第9回例会 7月9日(木)	次回の最終発表会に備え、各グループ別の集中討議
第10回例会 8月6日(木)	各グループより、討議結果についての発表(30分発表+質疑応答10分) 終了後は懇談会

チュートリアルコース『基本に立ち返って考えるQMS入門』のご案内

開催日程：1月～2月例会 計2回 10:30～12:00

対 象：第15期主登録者と副登録者のうち、チュートリアルコースにご参加を希望される方

昨期ご好評を頂きましたチュートリアルコースを今期も行う事になりました。こちらは本例会のプレコースとの位置付けとして、当フォーラムアドバイザー 原 博氏監修のもと、品質マネジメントの基本的考え方や応用について、リラックスした雰囲気から自由闊達に講義・議論したいと考えております。対象レベルは配属されてまだ間もない(初参加の)若手担当者を想定しています。

昨期の例会案内

開催日	内 容
第1回例会	基調講演 『グローバルに展開される企業の品質保証について』 ～ユニ・チャーム(株) グローバル品質保証部の活動事例を通じて～ ユニ・チャーム(株) グローバル品質保証部 部長 宮澤 清 氏
第2回例会	合宿研究会 現地講演「リゾナーレハケ岳の運営について」 リゾナーレハケ岳 総支配人 加藤 智久 氏 2日目は各グループ別の集中討議
第3回例会	ゲスト講演 『コベルコ建機のクオリティマネジメントの歩み』 コベルコ建機(株) 専任顧問 梶原 博 氏 (元常務執行役員、CQO品質最高責任者) 各グループ別の集中討議
第4回例会	アドバイザー講演 『今こそよみがえれ日本的経営(Ⅰ)』～メーカの基本は品質～ オフィスM企画 代表 松浦 強 氏 各グループ別の集中討議
第5回例会	アドバイザー講演 『今こそよみがえれ日本的経営(Ⅱ)』～メーカの基本は品質～ オフィスM企画 代表 松浦 強 氏 各グループ別の集中討議
第6回例会	ゲスト講演 『ISO 14001改正の最新動向』～品質保証部門が押さえておくべき要点～ 合同会社グリーンフューチャーズ 社長 吉田 敬史 氏 (TC207/SC1国内委員会 委員長) 各グループ別の集中討議
第7回例会	合宿研究会 (株)東芝 府中事業所の見学会 2日目は各グループ別の集中討議
第8回例会	ゲスト講演 「ものづくり安全」から「安全づくり」へ 明治大学 名誉教授 向殿 政男 氏 話題提供 「product360 製造業における品質情報の可視化」 スマートインサイト(株)ソリューションセールスグループ プロフェッショナルマネージャー 市川 洋一 氏 Ⅱ. 各グループ別の集中討議
第9回例会	最終発表会に備え、各グループ別の集中討議
第10回例会	各グループより、討議結果についての発表会を実施。例会終了後は懇談会

※お役職はご講演当時のものです。

フォーラムの特色



ゲスト講演

先進企業の第一線の実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連した様々なテーマについてお話を伺います。その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。



各グループ別の集中討議

今期(第15期)は4つのテーマを挙げさせて頂きました。メンバーの皆様には各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。ホンネの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。

メンバーの声

自社の課題が明確に見え、 沢山のヒントを頂ける場となりました

品質マネジメントは経営と密接に関係している為、各社のノウハウであると言えますが、本フォーラムに参加させて頂き驚いたのは Give and Take という精神のもと、参加企業の皆様方と情報交換や交流、議論をしっかりとさせて頂ける事でした。

また業種業態は違っても、他社の活動を知る事で自社の課題が明確に見え、沢山のヒントを頂ける場となりました。今後、益々グローバル化の波が押し寄せ更なる品質業務の質の向上と変革を目指すには課題解決とスピード、議論が不可欠であり、本フォーラムなら沢山の事を吸収出来ると思います。是非、皆様のご参加をお待ちしております。



ユニ・チャーム株式会社
グローバル品質保証部
マネージャー

石村 令子 氏
<第14期運営幹事>

業務に取り組む意識が変わった、多数の ヒントを得られた、人的ネットワークが できたこと、が大きな収穫です

「他社の取り組みを知りたい」、「他社と情報交換したい」と思われたことはありませんか？本フォーラムでは、「品質」を軸とした異業種のメンバーが、課題ごとのグループ討議を通して本音で情報交換し、悩みも共有しながら解決を目指しています。品質保証業務に就いてまだ間もないですが、先進企業のメンバーに刺激されて業務に取り組む意識が変わったこと、多数のヒントを得たこと、人的ネットワークができたことが大きな収穫となりました。来期も多数の皆様のご参加をお待ちしております。



味の素(株)品質保証部
グローバル戦略・
企画グループ専任課長

杉本 玲子 氏
<第14期メンバー>

■ 昨期（第14期）ご参加者メンバー 一覧表（主登録者およびグループ討議メンバー）

※敬称略・順不同

No.	会社名	所属・役職名	No.	会社名	所属・役職名
1	(株) アルバック	グローバル生産企画室企画推進部 部長	31	ダイキン工業 (株)	空調生産本部品質管理部
2	(株) クラレ	CSR部品質保証グループ リーダー	32	ダイキン工業 (株)	空調生産本部品質管理部
3	コニカミノルタ (株)	社会環境統括部品質推進部品質企画グループ 課長	33	(株) 東芝	品質推進部 品質技術担当 参事
4	(株) 東芝	品質推進部品質技術担当 参事	34	(株) 東芝	営業統括部 CS推進室 CS評価担当 参事
5	東芝エレベータ (株)	品質保証統括部グローバル品質保証企画部 品質企画担当 主任	35	日東電工 (株)	品質・環境・安全統括部グループ品質統括部 品質管理グループ長
6	富士ゼロックス (株)	CS品質本部品質保証部品質品質基盤G チーム長	36	日東電工 (株)	東北事業所 品質保証部医療材品質管理課 医療材品質管理課長
7	ユニ・チャーム (株)	グローバル品質保証部 マネージャー	37	日東シンコー (株)	品質保証部 部長
8	オフィスM企画	代表	38	(株) 日立国際電気	映像・通信事業部品質保証本部品質管理部 部長
9	H2 Lab.	代表	39	富士ゼロックス (株)	CS品質本部品質保証部品質基盤G チーム長
10	のっぽ技研	代表	40	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 品質品質基盤G グループリーダー
11	味の素 (株)	品質保証部品質企画グループ 専任課長	41	富士通 (株)	品質保証本部Qfinity推進室
12	(株) アルバック	グローバル生産企画室企画推進部 主事	42	富士通 (株)	品質保証本部品質保証推進統括部 マネージャー
13	(株) アルバック	生産本部生産技術センター品質保証課 主任	43	富士フイルム (株)	環境・品質マネジメント部 統括マネージャー
14	イビデン (株)	生産推進本部品質管理部 品質システムGグループマネージャー	44	富士フイルム (株)	環境・品質マネジメント部 技術マネージャー
15	宇部興産 (株)	化学生産・技術本部宇部ケミカル工場 品質保証第1グループ 首席部員	45	富士フイルム ホールディングス (株)	経営企画部 FWグループ マネージャー
16	宇部興産 (株)	化学生産・技術本部堺工場 品質保証第2グループグループリーダー	46	(株) プリチストーン	グループグローバル品質企画管理部 品質企画管理部品質人材育成ユニットリーダー
17	花王 (株)	品質保証C HHC品質保証室:室長	47	(株) プリチストーン	グループ・グローバル品質企画・管理本部 TQM推進室 フェロー
18	花王 (株)	品質保証C BCSCHC品質保証室 副主席	48	三菱電機 (株)	品質保証推進部品質企画グループマネージャー
19	花王 (株)	技術C品質保証部 副主席	49	三菱電機 (株)	本社品質保証推進部 品質企画グループ 専任
20	(株) クラレ	CSR部品質保証グループ 主管	50	(株) 村田製作所	技術事業開発本部デバイス開発センター 次長
21	(株) クラレ	鹿島事業所品質保証課長	51	(株) 村田製作所	品質保証部品質保障推進課 次長
22	グローリー (株)	品質保証本部品質保証一部品質保証1G グループマネージャー	52	(株) 村田製作所	品質保証部品質システム課 課長
23	グローリー (株)	品質保証本部品質保証三部品質保証2G グループマネージャー	53	ヤマハ (株)	品質保証部品質企画室 主事
24	小林製薬 (株)	品質保証室品質保証監査部 担当課長	54	ヤマハ (株)	品質保証部 部長
25	小林製薬 (株)	品質保証室品質保証監査部 課長	55	ヤマハ (株)	品質保証部品質企画室 企画担当課長
26	小林製薬 (株)	品質保証室品質保証監査部 課長	56	ヤマハ発動機 (株)	マリエンジ事業部品質保証部品質企画グループ グループリーダー
27	シスメックス (株)	品質保証部 部長	57	ヤマハ発動機 (株)	コーポレート品質保証部品質保証グループ 品質活動推進担当
28	シスメックス (株)	品質保証部 係長	58	ユニ・チャーム (株)	グローバル品質保証部 マネージャー
29	住友化学 (株)	基礎化学業務室 品質保証統括	59	ユニ・チャーム (株)	グローバル品質保証部 マネージャー
30	ダイキン工業 (株)	空調生産本部品質管理部 課長	60	YKK (株)	工機技術本部品質保証室 室長
			61	YKK (株)	ファスニング事業本部品質環境センター 品質管理推進室品質企画推進グループ長

■ 一般社団法人企業研究会のプロフィール

昭和23年5月、終戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部（主に経理部門）を中心に数名の学者及び経済安定本部調査課の人々から成るインフォーマルな研究懇談会が開かれました。その後、自動車、造船、紡績、製紙などのメーカーも加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸において、正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。当初、任意団体として発足しましたが、会員の増加と研究活動の活性化を踏まえて、昭和31年3月31日、通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在に至っております。本年66年目を迎えましたが、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在40余の異業種研究会やビジネススクールでの人材養成プログラム、さらに公開セミナーや出版事業などにみられる通り、ますます強化され、多様かつ広範な活動が展開されています。当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経済と産業社会の発展を担う企業の役割と軌を一にしているものといえましょう。

参加要領

参加料

1社 1~2名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①)

※税込み

正会員	一 搬
216,000円 (本体価格200,000円)	237,600円 (本体価格220,000円)

1社 3名様でご参加の場合(主登録者+副登録者①+副登録者②)

※税込み

正会員	一 搬
270,000円 (本体価格250,000円)	291,600円 (本体価格270,000円)

*各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。

*見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。

*分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。

申込方法

以下の申込書に所定事項をご記入の上、FAXにてお送りください。

当会のホームページからでもお申し込みが可能です。

確認のご連絡を差し上げた後、請求書等をお送り致します。

お試し(体験)参加について

第1回例会は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前にお試し(体験)参加が頂けます。

会場の雰囲気など実際にご覧頂いた上でご決定ください。お試し(体験)参加ご希望の方は、申込書のお試し(体験)参加の欄にチェックの上、お申込みください。

※お願い ご講演部分のみの参加はお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人 **企業研究会** 第2研究事業グループ 担当：鈴木

TEL：03-5215-3550 FAX：03-5215-0951 e-mail：a-suzuki@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

第15期 「品質革新マネジメントフォーラム」申込書

一般社団法人 **企業研究会** 鈴木 宛

事業コード：140025

申込日 2014年 月 日

会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申し込みます。

参加検討中につき、第1回例会のお試し(体験)参加を希望します。

FAX：03-5215-0951

会社名			
会社所在地 (〒)			
主登録者 氏 名	-----	所属	役職
E-mail		TEL	FAX
副登録者① 氏 名	-----	所属	役職
E-mail		TEL	FAX
副登録者② 氏 名	-----	所属	役職
E-mail		TEL	FAX
備 考			

*申込書にご記入いただいた個人情報は、本会合に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。